

# 平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

## 1. 学校概要

学校名 金沢市立泉野小学校 (※正式名称を記載)  
種 別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫<sup>※注1</sup>  
 中学校  中高一貫<sup>※注2</sup>  高等学校  
 教員養成大学  専修学校、各種学校  
 特別支援学校  
 その他 (例: 小中高一貫 )  
所在地 〒921-8117  
石川県金沢市緑が丘 4 番 64 号  
E-mail izumino-e@kanazawa-city.ed.jp  
Website http://cms.kanazawa-city.ed.jp/izumino-e/  
幼児児童生徒数 男子 292 名 女子 280 名 合計 572 名  
幼児・児童・生徒の年齢 6 歳～12 歳

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

## 2. 報告期間

平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月

※報告書提出時点～平成 30 年 3 月末までの活動は、予定 (見込み) として記載ください。

## 3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800 字程度 + 活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項 1-1、2-1 に対応

当校は、「金沢の魅力を学び伝えよう」を活動テーマとし、ESD を「金沢ふるさと学習」と捉え、ESD の実践を通して行動実践能力とコミュニケーション能力の育成を目標とした。具体的には、福祉や環境、伝統、文化を柱に、①伝承遊び、②町探検、③金沢の和菓子、④金沢の偉人、⑤金沢の食文化、⑥金沢のまちに係わる学習を行った。

### ① 1 年 金沢の伝承遊びを楽しむ

昔から伝わるこまやけん玉、あやとりなどの体験を通して、伝承遊びに触れる学習を行った。自分の木ごまに色や模様をつけ、毎日練習に励み、できる技を増やした。友達にコツを教えてもらい、喜びを共に分かち合う姿も見られた。地域の方をお招きし、伝承遊びを教わったりできるようになった技を見ていただいたりする「昔遊びの会」を行い、楽しい時間を過ごした。子どもたちは初めてべえごまやまりつきを教えていただき、人とのつながりの楽しさを感じられる活動となった。

### ② 2 年 もっとなかよしまちたんけん

自慢したい地域の店や働く人について、もっと知りたいなという思いから、調べ活動を行った。自慢したい店 (12 店) に、クラスの枠をはずしてグループを作り、保護者の方にも引率のお手伝いをいただいて探検に出かけた。事前に、知りたいこと・教えて欲しいことを考え、全員がインタビューをすることができた。インタビューをすることで、店の様子や働く人の仕事や苦労、地域の人々に喜ばれる工夫などについて詳しく学ぶことができた。町探検で学んだことをまとめ、家の人に紹介することを単元のゴールにして、各グループでまとめ方・発表方法を意欲的に考えていた。劇・ペープサート・クイズなど様々な方法でまとめ、聞く人も一緒に楽しんでいった。地域の人々と触れ合い、つながりを感じたり、他クラスの児

童と学び合ったり、保護者の方々に成長した姿を見ていただいたりと有意義な活動となった。

### ③ 3年 金沢のよさをしろう ～和菓子を学ぶ～

社会科「はたらく人とわたしたちの暮らし」で和菓子工場を見学し、こだわりの原料を用い職人さんが技と工夫を凝らしておいしい和菓子を作っていることを学んだ。

その学習と関連させながら、学校周辺にある和菓子屋（5店）へ出かけ、和菓子の種類や原料、作り方の工夫やお店の人の思い・願い、季節との関わりについてインタビューした。和菓子工場と比べたことによって、地域に根ざした和菓子屋の良さや身近なお客のために努力している職人さんの思いを知ることができた。さらに、国語科の「話す・聞く」領域の学習を生かして、和菓子について学んだことを保護者や他グループの友達に発表した。”和菓子をもっと好きになってもらおう”とめあてを設定したことで、相手意識をもちグループで協力し合い、和菓子のよさをクイズや劇・写真などを使って分かりやすく伝えられた。また、自分が調べたことと比べて聞き、感想や質問をし和菓子について深く学ぶことができた。

### ④ 4年 発見・金沢の伝統 ～偉人から学ぶ～

金沢の良さや自分の可能性に気付くことができるきっかけとして身近な偉人について学習を展開した。本校の卒業生である木村栄の業績や生き方を共通課題として取り上げ、調べ学習に取り組んだ。調べたことを新聞にまとめる中で、金沢の他の偉人についても知りたいという思いをもつようになった。そこで、「ふるさと偉人館」で自分の関心がある分野の偉人について資料を見たり学芸員さんに直接質問したりした。学習したことを偉人ごとに劇にしたり、ポスターや写真等を使ったりしてお家の人に発表した。さらに「6年生を送る会」で木村栄の劇を行い、全校児童にも泉野に素晴らしい偉人がいることを紹介することができた。偉人調べを通して、児童はあきらめずに最後まで努力することの大切さを学び、たくさんの偉人がいる金沢の素晴らしさと自分の将来に対する希望を感じることもできた。

### ⑤ 5年 金沢の自然と食文化

金沢の食文化に欠かせない米や加賀野菜、金沢の自然環境を知ることができる犀川を素材として扱い学習を進めた。「米について調べよう」では、住宅街で田が少ないという校区の特徴から、バケツで稲を育てた。これにより米への興味が高まり、その後の調べ学習に意欲的に取り組んでいた。「犀川の自然環境をさぐる」では、昔の犀川の様子を聞き、きれいな犀川を守っていくために自分たちができることを考え、「これからも犀川を大切にしよう」という思いを抱くことができた。「金沢の食文化」では加賀野菜について調べた。歴史や育て方、料理はもちろんのこと、育てている人の思いについて知ること、加賀野菜への思いを新たに、地産地消への取り組みにも関心をもつことができた。

### ⑥ 6年 金沢のまちを学ぼう

伝統が息づく町並みや名所、行事、文化について年間を通して学習してきた。「金沢の町を調べよう」では伏見寺や天徳院を見学し、住職から芋掘り藤五郎や珠姫についてのお話をしていただき、金沢の歴史に親しむことができた。また「金沢の伝統文化に触れよう」では、和菓子作りや水引作りを体験し、職人の技の素晴らしさから、金沢に守り受け継がれてきた伝統文化の大切さを実感することができた。調べたことや学んだ成果は国語科『パンフレットを作ろう』や英語科との関連を図り、パンフレットをつくり兼六園で金沢の魅力を英語で外国人観光客に発信することができた。活動を通して子ども達は、魅力あふれる金沢に誇りを持ち、愛着を深めることができた。



③ 和菓子屋見学の様子



④ ふるさと偉人館へ見学

## (2) 活動の詳細

### ① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

#### ア. 活動分野（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他( )		

#### イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入 )	

#### ウ. 活動時間（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述 )	

#### エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

文部科学省ウェブサイト(日本ユネスコ国内委員会)  
ユネスコスクール公式ウェブサイト  
ESD(持続可能な開発のための教育)推進の手引き

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

本校では、ESDの理念は総合的な学習の充実によって実現されると考えている。「金沢ふるさと学習」を教育課程の総合的な学習に位置づけて、課題解決型の学習を展開している。「金沢ふるさと学習」のテーマを受け、本校独自の単元を各学年で設定し、身近な人と人とのつながり、地域の特色や金沢の歴史や伝統文化、環境等について、教科横断的な学習を計画的に行っている。

また、児童の発達段階や実態を考え、生活科や総合的な学習の教育課程の編成と実施を適正に行うように努めている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

児童の実態に応じた学習が適正に実施されるように、年度末に教育課程の見直しを行っている。教科研究会で内容等について検討し、加除修正、単元の入れ替えなどを行っている。地域の人材や見学施設等の情報、使用する教材や他教科との関連も明記し、継続的に活動に取り組めるよう工夫をしている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

本校では、年2回教職員にアンケートを取って教育課程の編成と実施についてふり返し、学習評価を行っている。その中で総合的な学習の金沢ふるさと学習について、金沢がもつ人材や施設などを活用して学んでいるかとの項目は96%以上が当てはまると答えている。地域の人や場所と積極的に関わることが出来たことがわかった。しかし、児童の成果物に持続可能な社会づくりにつながる自分の思いや考えを表すことについては、十分な結果が得られず、更に意識を高めていく必要があることがわかった。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

2 年生活科「まちたんけん」、3 年生総合「和菓子を学ぶ」、4 年総合「偉人に学ぶ」では、授業で学んだことを新聞等にまとめて掲示することで校内の児童に広めたり、授業参観で保護者や地域の方に向けて発表会をしたりできた。また、6 年総合では兼六園で外国人観光客に金沢や兼六園の魅力を英語で発信することが出来た。授業で学んだ英語で実際に会話が出来たことが児童にとっての自信となり、楽しくコミュニケーションをとりながら国際理解につながる学習となった。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD 活動支援センター、ESD コンソーシアムとの連携など)  
(200字程度)

※チェック事項 2-3 に対応

1 年生の生活科昔遊びでは地域コミュニティの方々と、2 年生の生活科町たんけんでは保護者や地域の方々と、3 年の和菓子の学習では地域の和菓子工場やお店の方々と連携し、協力をいただきながら学習を進めることが出来た。自分たちで課題を見つけ、実際に体験したり、見学したり、質問したりしてたくさんの人と関わりながら課題を解決し、学びを深めることにつながった。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度)

※チェック事項 2-4 に対応

今年度は大雪のため開催が中止となったが、金沢市では2月に「ユネスコスクール子どもサミット」を行っている。市内のユネスコスクールに加盟している小中学校が集まり、総合的な学習などで学んだ実践を模造紙にまとめ、各校のプレゼンを聞き合い交流している。「金沢ふるさと学習」を軸に地域や学校の特色を生かした実践を学び合うことが出来ていた。今年度は校内で放送による事前に発表会を行うことで、自分たちの学習を全校児童で振り返ることができた。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）  
※チェック事項 2-5 に対応

総合的な学習の目標は、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら判断・行動しより良く解決し、自分の生き方を考える事が出来る資質能力を育てる行動実践能力やコミュニケーション能力を育成することとしている。保護者や地域と人や場所と関わることで学年に応じた内容で身近な人や地域について調べたり、まとめたり、交流したりすることで、児童が主体的に学ぶことができた。他教科とも関連を図り、発展的な学習につなげることができた。

(3) 平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

- 1 年生活科「金沢ふるさと学習」金沢の伝承遊びを楽しむ  
2 年生活科「金沢ふるさと学習」金沢の民話に親しむ  
          ときどき わくわく まちたんけん  
3 年総合 「人がつながるまち金沢」 ～伝統行事を学ぶ～  
          「人がつながるまち金沢」 ～和菓子を学ぶ～  
4 年総合 引きつごう・泉野小の伝統、発見・金沢の伝統  
          伝統が息づくまち 金沢 ～金沢の偉人に学ぶ～  
5 年総合 金沢の自然と食文化 ～わたしたちのくらしとお米～  
6 年総合 金沢の歴史や文化を学ぼう

その他、委員会活動として運営委員が中心となって、ユニセフ募金やワクチン贈呈を目的に全校に呼びかけ、プルタブ、ペットボトルキャップの回収を毎月行う。近隣の小学校 4 校で同じ取り組みをすることで交流を深めていく。